

Syllabus Id	Syl.-090252
Subject Id	Sub-090307460
更新履歴	090327
授業科目名	物質工学特別講義 [Topics in Modern Chemistry and Biochemistry]
担当教員名	稲津晃司・長澤正氏
対象クラス	物質工学科5年生
単位数	1学修単位
必修/選択	必修
開講時期	前期
授業区分	基礎・専門工学系
授業形態	講義
実施場所	主として第1視聴覚教室

授業の概要(本教科の工学的, 社会的あるいは産業的意味)

本科目では, 物質工学における先端研究や最新の情報, 研究開発を仕事とする際の心構えなどを学ぶ。物質工学科を卒業する前に身につけておいた方が好ましいテーマを取り上げる。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

履修してきた物質工学の基礎

学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
	◎	C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と, 自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

C:工学的な解析・分析力, 及びそれらを創造的に統合する能力

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と目標達成度試験の合格を持って、当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

講義テーマを理解し, 議論したり, その要点を適切にまとめたりすることができること。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが, 参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1から15回	オリエンテーション 物質工学についての先端研究や重要課題	各回の講師から提示される	
第16回		1回に4時間分の講義を行う。	×

課題 講義中あるいは講義終了時に1時間程度で行える演習問題を課すことがある。各回の講義で指示された課題についてのレポートを授業担当教員, またはその時に指示した教員に提出する。

提出期限: 出題した次の週

提出場所: 講義開始直後の教室

オフィスアワー: 放課後、稲津教員室

評価方法と基準

評価方法:

課題レポート90%、自己評価10%で評価する。

評価基準:

各課題について、授業内容と設問内容が理解され、自分の考えが提示されているかについて評価する

教科書等	各回で適宜配布されるプリント
先修科目	物質工学科で履修している全ての科目
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	
備考	<p>1.試験や課題レポート等は, JABEE, 大学評価・学位授与機構, 文部科学省の教育実施検査に使用することがあります.</p> <p>2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください.</p>